

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京都江戸東京博物館
所在地	東京都墨田区横網1-4-1（分館 東京都小金井市桜町3-7-1）
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	江戸東京博物館のリニューアルオープンに向けて、着実な管理・進行が行われている。
	財務の状況	○ (◎)	休館中ではあるが様々な取組を行っており、収支は黒字となった。
事業効果	事業の実施状況（調査研究等）	◎	資料のデジタル化等を積極的に進めたほか、ハイパー江戸博第2弾のリリースなど、休館中だからこそできる活動が活発に行われた。
	事業の実施状況（展示・教育普及事業等）	◎ (○)	<ul style="list-style-type: none"> ・えどはく移動博物館として、出張ワークショップと出張展示を積極的に行い、いずれも目標回数を大きく上回った。普段なかなか江戸博に行けない方向けの伊豆大島での出張展示も素晴らしい。 ・たてもの園は、来園者の満足度が高く、来館者数も増加するなど着実に取り組んでいる。
	運営の実施状況	○ (◎)	全国歴史民俗系博物館協議会の事務局館としての年次集会の開催や、川崎市市民ミュージアムの収藏品レスキュー活動の調整に携わるなど、関係機関との連携・協力を行った。
	施設サービスの実施状況	○	休館中であることの表示や、施設までのアクセスをHP等で適切に案内しており、館外展示についても積極的な情報発信が行われている。
方針と目標の達成状況		○ (◎)	休館中でありながらも、海外との共同研究や展示等、資料収集、調査、研究と魅力ある展覧会を結びつけた取組を実施したほか、資料公開等、発信の努力も続けており、着実な事業の遂行と新たなチャレンジを両立させている。

【評価基準】各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
 ○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
 △＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
 「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
 「B」…管理運営が良好であった施設
 「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり

◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
 ○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
 △＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	休館中ではあるが、リニューアルオープンに向けて江戸博の魅力を生かして国内外に対してさらに発信していくような取組に期待したい。

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京都写真美術館
所在地	東京都目黒区三田1-13-3
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		B (A)	
管理状況	管理の実施状況	○	適切な管理や修理等が行われている。
	財務の状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 経費削減努力を行っており、収支は黒字となっていることから、財務内容に問題はない。 会計関連事務について改善が必要な点があった。
事業効果	事業の実施状況（調査研究等）	○	「記憶：リメンブランクス」展のようなキュレーションの光る展覧会をさらに継続してほしい。また、そのための活発な調査研究活動を期待する。
	事業の実施状況（展示・教育普及事業等）	△	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵品を活用した多様なテーマの収蔵展を実施していることは評価できる。 ワークショップの開催回数が目標を大きく下回る結果となったことは、利用者の利用機会を損ねるものであった。
	運営の実施状況	○ (◎)	<ul style="list-style-type: none"> SNS等で積極的に広報活動を行ったほか、恵比寿映像祭での地域連携も非常に充実したものであった。 庭園美術館と関連した上映など他館との連携の試みも評価できる。
	施設サービスの実施状況	○ (◎・△)	カフェは料理やスイーツのクオリティが非常に高い。カフェを目指して来る来館者が美術館にも立ち寄りてみようと思える連携施策を希望する。
方針と目標の達成状況		○	達成目標のうち、将来性のある作家の発掘やコレクションの充実・発信などでは成果が見られるが、国際的なネットワークの構築や専門的な研究に基づく視点、多様性を生かした展覧会企画に関してはさらに今後が期待される。

〔評価基準〕各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
 ○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
 △＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

〔S〕…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
 〔A〕…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
 〔B〕…管理運営が良好であった施設
 〔C〕…管理運営に良好ではない点が認められた施設

〔※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり〕

◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
 ○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
 △＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	一階ホールの稼働率向上のため、多様な上映企画など意欲的な試みを期待したい。

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京都現代美術館
所在地	東京都江東区三好4-1-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		S	
管理状況	管理の実施状況	○	適切な管理運営を行っている。
	財務の状況	○ (◎)	企画展の集客が当初見込みより良く、経営努力も行っている。収支も大幅な黒字で、財務内容は優れている。
事業効果	事業の実施状況（調査研究等）	◎ (○)	「ホックニー展」や「豊嶋康子展」など、現代美術館にふさわしい重要な展覧会を学芸員が継続して企画・実施している点を高く評価したい。ジェンダーなど今日の現代美術の重要な論点に切り込む企画を今後も継続してほしい。
	事業の実施状況（展示・教育普及事業等）	◎ (○)	・コレクション展ではこれまでも学芸員の調査研究を生かした興味深い展示が続いていたが、それが入場者目標を上回る結果に結びついたことは非常に喜ばしい。 ・アートブックフェアの開催やアーティストの学校訪問などは大切な取組であり素晴らしい。
	運営の実施状況	◎ (○)	サマーナイトミュージアム等の実施に加え、混雑への対応として閉館時間を拡大したほか、SNSで混雑状況をアプダウトするなど、利用者の利便性向上に柔軟に取り組んでいることは高く評価できる。
	施設サービスの実施状況	◎ (○)	・託児サービスの実施や、手話研修の実施によりホスピタリティ向上に取り組んでいることは評価できる。 ・レストランや図書館などで子どもが楽しめる工夫、飽きさせない工夫が充実しており、子どもがいる家族が一日滞在し、ゆったりと美術を楽しめる空間になっている。
方針と目標の達成状況		◎	達成目標に従って順調に活動を継続しており、学芸員の調査研究に基づく展示や企画の質の高さによる集客力がある。さらに、館内のサービスやホスピタリティの向上に積極的な姿勢があることが評価できる。

〔評価基準〕 各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
〔S〕…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
〔A〕…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
〔B〕…管理運営が良好であった施設
〔C〕…管理運営に良好ではない点が認められた施設

〔※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり〕
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	特になし

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京都美術館
所在地	東京都台東区上野公園8-36
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		S (A)	
管理状況	管理の実施状況	○	災害などの対策もしっかりと行い、危機管理体制が整っている。
	財務の状況	○	経費節減努力をしながら、来場者数増に向けた努力もしており、結果として収支が予算より大幅に改善している。
事業効果	事業の実施状況（調査研究等）	◎ (○)	<ul style="list-style-type: none"> ・コレクション展は東京都のコレクションに光を当てる素晴らしい企画であり、今後もこのような展覧会を期待する。 ・学芸員の調査研究が、「マティス展」「印象派展」のような展覧会の企画・構成でさらに活かされることが期待される。
	事業の実施状況（展示・教育普及事業等）	◎ (○)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展や企画展、グループ展、公募団体展など、多様な形態の展示がコンスタントに開催されており素晴らしい。 ・とびラーの活動も非常に活発であり、教育普及事業においても努力を続けている。
	運営の実施状況	○ (◎)	<ul style="list-style-type: none"> ・「Museum Start あいうえの」事業等、引き続き地域の文化教育施設と連携を深め、認知症の方のためのプログラムなど、社会問題の解決について美術館ならではのアプローチを試みている。 ・近隣の商業施設と連携したポスター告知は良い企画である。
	施設サービスの実施状況	◎ (○)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムショップは魅力的な商品の開発など適切な運営をしており、陳列や商品ラインナップなどが洗練されている。 ・特別展等におけるフォトスポットの設置が来館者の撮影やSNS投稿をうまく促している。
方針と目標の達成状況		◎ (○)	質の高い展示や調査研究、とびラーとの連携など、意欲的な活動が際立っており、「世界と日本の名品に出会える美術館」という目標は、入場者数を含めて一定の達成度に達している。

評価基準	各項目の評価 ◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上 ○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成 △＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下 総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価 【S】…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設 【A】…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設 【B】…管理運営が良好であった施設 【C】…管理運営に良好ではない点が認められた施設	※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり ◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上 ○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上 △＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満
------	--	--

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	特になし

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京都庭園美術館
所在地	東京都港区白金台5-21-9
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		S	
管理状況	管理の実施状況	◎	重要文化財の施設管理について、多大な努力が必要となる中、建物や庭園、茶室等の維持管理を適切に行っている。
	財務の状況	○	様々な経営努力により集客力を向上させ、収支は黒字となった。
事業効果	事業の実施状況（調査研究等）	◎（○）	<ul style="list-style-type: none"> ・「装飾の庭」展や「フィンランド・ガラスアート」展は本館や庭園とよく調和した良い企画であり、学芸員の調査研究をさらに生かした展覧会企画を期待したい。 ・「紀要」発行も意義深いものであり、今後も学芸員による論文掲載の継続を期待する。
	事業の実施状況（展示・教育普及事業等）	○（◎）	<ul style="list-style-type: none"> ・館の特性を活かした企画展や建物公開展の開催に加えて、障害者や乳幼児とその家族を対象とする「フラットデー」を新たなアクセシビリティ・プログラムとして実施するなど、あらゆる人々に開かれた美術館として鑑賞機会拡大を図っている。
	運営の実施状況	◎（○）	<ul style="list-style-type: none"> ・桜開花期、紅葉期、サマーナイトミュージアムにおける夜間開館など、美術館の魅力を最大限に引き出す試みを続けている。 ・国立科学博物館附属自然教育園やホテル、茶会を通じた区内の大使館と高校の文化交流の場の提供など、地域連携の強化を図っている。 ・SNS投稿の画像のセレクトが良く、投稿に対するエンゲージメント率が非常に高い。 ・ユニークベニューの人員など体制を充実させていくことで新たな可能性が開けると期待される。
	施設サービスの実施状況	◎・○	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のバリアフリー化を進めており、ウェブサイトのリニューアルに際してもアクセシビリティ向上に精力的に取り組んだ。 ・レストランとの連動メニューやミュージアムグッズの充実など、展覧会以外でも美術館を楽しめる試みを行っていて素晴らしい。
方針と目標の達成状況		◎	建物公開展や企画展、地域連携事業など、多様な鑑賞者に来館機会を提供しており、「グランドデザイン」を作成し、誰にでも開かれた美術館の実現に向けて取り組んでいる。

【評価基準】 各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

【※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり】
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	現状の活動は評価できる。今後もさらに、装飾美術の研究拠点としての整備や調査研究の実践、それに基づく展覧会企画が期待される。